

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年11月24日～2016年11月30日)

平成 28 年(2016 年)12 月 2 日

H E A D L I N E S

## 政治

憲法法廷, 次期長官候補3名を選出  
 ポーランド・マルタ首相会談  
 クロアチア軍参謀総長, ポーランド訪問  
 ポーランド軍, 将官人事発表  
 ポーランド・アイルランド外相会談  
 国防大臣, ピリカ対空ミサイルの契約に署名  
 国防次官, V4国防副大臣級会合に参加  
 ポーランド・イラク外相会談  
 リトアニア軍参謀総長, ポーランド訪問  
 ドゥダ大統領とガウク独大統領のNATO軍司令部への合同訪問  
 ポーランド・英国政府間協議開催  
 国防大臣, 英国訪問  
 ポーランド・ドイツの共同演習開始  
 韓国参謀本部の准将, ポーランド訪問  
 国防次官, ノルウェー訪問  
 「V4+西バルカン」外相会合開催

## 経済

9月までの輸出  
 10月の失業率  
 経済成長率見通し引き下げ  
 第3四半期のGDP成長率  
 日本国内便のコードシェア便が拡大ーLOT  
 電気バス共同開発に向け合意  
 IDカード用ICチップを開発  
 KGHM銅鉱山で事故

## 大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意  
 パスポートダウンロード申請書のご案内  
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ  
 大使館広報文化センター開館時間  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館  
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696  
 5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内政

**憲法法廷、次期長官候補3名を選出【30日】**

30日、憲法法廷は判事による総会を開催し、12月19日に退官するジェプリンスキ同法廷長官の後任候補3名を選出し、ドゥダ大統領に提示した。ジェプリンスキ長官の後任を巡っては、同長官と対立関係にある「法と正義」(PiS)政権が現在下院にて法改正を行い、現行法とは異なる形で長官選出を行う準備を進めている。なお、今次総会に出席した判事

数は9名であり(今期下院にて選出された判事3名が欠席)、定足数10名に足りなかったが、出席した判事は現行法に基づき次期長官候補を大統領に提示する義務があるとの認識を確認した上で、選出作業を行った。今後はドゥダ大統領の対応が注目されるが、上記の法改正の動き等もあり、今回憲法法廷が提示した3名の候補の中からドゥダ大統領が次期長官を任命する可能性は低いと見られている。

## 外交・安全保障

**ポーランド・マルタ首相会談【30日】**

30日、シドゥウオ首相は、ワルシャワ訪問中のムスカット・マルタ首相と会談し、EUの難民及び隣国政策について意見交換した。

**クロアチア軍参謀総長、ポーランド訪問【22日】**

22日、クロアチア軍参謀総長スドゥウ大將は、ポーランドを訪問し、ポーランド軍参謀総長ゴツウ大將と会談し、F-16戦闘装甲車ロソマックの運用、F-16の導入、軍事及びテロの情勢、特殊部隊・憲兵の訓練協力等について協議を行った。

**ポーランド軍、将官人事発表【23日】**

23日、ドゥダ大統領は、ポーランド軍の将官人事に署名し、15人が将官に昇任することになった。

**ポーランド・アイルランド外相会談【23-24日】**

23-24日、ヴァシチコフスキ外相は、アイルランドを訪問し、24日フラナガン・アイルランド外務・貿易相と会談し、欧州情勢、EU・英国関係及びアイルランド在住のポーランド人の状況について意見交換した。

**国防大臣、ピリカ対空ミサイルの契約に署名【24日】**

24日、マチェレヴィチ国防大臣は、ピリカ対空機関砲・ミサイル複合体の契約に署名した。2019年から2022年まで6個単位を納入し、総額7.5億ズロチになる。

**国防次官、V4国防副大臣級会合に参加【24~25日】**

24~25日、シャトコフスキ国防次官は、シチェンで開催されたV4国防副大臣級会合に参加した。同会合において、V4によるバルト諸国への軍事支援、訓練を中心としたプレゼンスの向上、NATO大隊のローテーション展開への協力の可能性、V4国相互の防衛協力について協議を行った。

**ポーランド・イラク外相会談【25日】**

25日、ヴァシチコフスキ外相は、ポーランド訪問中のジャアファリー・イラク外相と会談し、防衛分野、イラク軍の訓練へのポーランドの関与、ISILとの闘い、二国間の人道、開発、経済面における協力について意見交換した。また、両国外相は、外務省間協力に関する文書に署名した。

**リトアニア軍参謀総長、ポーランド訪問【25日】**

25日、リトアニア軍参謀総長ヴァリコノラス少将は、ポーランド軍を訪問し、二国間の軍事協力に合意するとともに、軍の任務、編成、能力特にバルト海周辺での偵察活動等について意見交換を行った。

**ドゥダ大統領とガウク独大統領のNATO軍司令部への合同訪問【28日】**

28日、ドゥダ大統領は、ポーランド訪問中のガウク独大統領と共に、ポーランド北西部のシチェンにあるNATO北東多国籍軍司令部を訪問し、両大統領は、二国間軍事協力についても意見交換を行い、二国間共同の潜水艦作戦運用司令部の設置、偵察・情報集約センターの設置等について協議した。また、司令部は、2017年6月にはNATO中央司令部に昇格する予定である。

**ポーランド・英国政府間協議開催【28日】**

28日、シドゥウオ首相は、モラヴィエツキ副首相兼財務・開発大臣、ヴァシチコフスキ外務大臣、マチェレヴィチ国防大臣、ブワシチャク内務・行政大臣等と共にロンドンを訪問し、メイ首相及び英主要閣僚と史上初のポーランド・英国政府間協議を実施し、経済、防衛、科学・技術及び文化における二国間協力及び英国在住ポーランド人の状況に関する協議が行われた。

**国防大臣、英国訪問【28日】**

28~29日、マチェレヴィチ国防大臣は、英国を訪問し、ファオロン国防大臣と会談を行い、ポーランド・

英国軍事覚書の年末までの再締結、英国軍兵150名をNATO大隊の一部としてポーランドに派遣、NATO4個大隊の司令部をポーランドのエルブログに設置することについて協議した。

#### ポーランド・ドイツの共同演習開始【28日】

28日、ポーランド軍第17機械化師団とドイツ軍第411機械化歩兵大隊は、12月14日まで、ポーランド国内ザガン演習場において、共同演習訓練を開始した。参加人数は、ポーランドが約300人、ドイツ軍が約150人である。

#### 韓国参謀本部の准将、ポーランド訪問【28日】

28日、韓国参謀本部戦略計画部副部長のり准将は、ポーランド参謀本部等を訪問し、体制移行、装備の近代化等について情報交換した。

ポーランドと韓国の軍事交流は、2012年にポーランド国防武官を韓国に派遣し、2013年に軍事協力協定を署名し本格化している。

#### 国防次官、ノルウェー訪問【28日】

28日、シャトコフスキ国防次官は、ノルウェーに訪問し、会談を行い、バルト海の安全保障情勢、NATO大隊のローテーション展開等を協議した。

#### 「V4+西バルカン」外相会合開催【29日】

29日、「V4+西バルカン」外相会合が開催され、V4外相の他、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表、西バルカン6カ国(モンテネグロ、セルビア、マケドニア、アルバニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ及びコソボ)の外相、バルカン地域周辺の5カ国(ブルガリア、クロアチア、ルーマニア、スロベニア及びイタリア)の高官が出席し、安全保障、EU拡大及びバルカン地域における和解・地域協力について意見交換がされた。また、V4外相は、西バルカン諸国のEU加盟への支持を表明するEU拡大政策に関する共同宣言を採択した。

## 経 済

### マクロ経済動向・統計

#### 9月までの輸出【25日】

中央統計局(GUS)によれば、1月から9月までの輸出額は合計5,860億ズロチで対前年同期比5.8%増。輸入は5,680億ズロチで対前年同期比3.9%増。EUへの輸出が6.1%増、輸入は6%増となった。

#### 10月の失業率【25日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の失業率は8.2%で、9月の8.3%から更に下落し、登録失業者数は130万人となった。

#### 経済成長率見通し引き下げ【28日】

OECDはポーランドの2016年のGDP成長率見通しを3.0%から2.6%に、2017年の見通しを3.5%から3.2%に引き下げ。2017年後半からの中央銀行(NBP)金利引き上げの可能性と、年金受給年齢引き下げにより、2018年には財政赤字がGDPの3%を超える可能性があるとして指摘している。

#### 第3四半期のGDP成長率【30日】

中央統計局(GUS)によれば、第3四半期のGDP成長率は対前年同期比2.5%。第2四半期の成長率は対前年同期比3.1%であり、0.6ポイントの減となった。

## ポーランド産業動向

#### 日本国内便のコードシェア便が拡大—LOT【28日】

ポーランド航空(LOT)と全日本空輸(ANA)は、12月1日より成田と接続する日本国内便(札幌、仙台、福岡)とのコードシェア便を拡大することを発表した。ポーランド側ではワルシャワで接続するロンドン、パリ、フランクフルト便が対象となる。

#### 電気バス共同開発に向け合意【29日】

ソラリス社とMedcom社は、国内の大学や関連企業とともに電気バス開発共同事業を視野に入れた協力で合意した。今後、バスの設計、電池及び

関連システムの開発等を共同で行う。将来のポーランド製電気バスの輸出拡大につながる事が期待されている。

#### IDカード用ICチップを開発【29日】

身分証等の認証文書の印刷を行う Polish Security Printing Works(PWPW)は、他の研究機関等とともに、今後3年間で独自のIDカード用のICチップを開発することを発表した。同社によると、開発されたICカードは国防省での使用が想定されており、一般の身分証明書にも利用されると見込んでいる。

## エネルギー・環境

**KGHM銅鉱山で事故【29日】**

ポーランド精銅社(KGHM)は、同社のRudna銅鉱山における地震による落盤事故で8名の作業員が犠牲となったと発表した。シドウウォ首相も現

地を訪問し、必要な支援を行うと約束した。Rudna銅鉱山は、1974年に開かれた欧州最大の銅鉱山として知られている。

## 大使館からのお知らせ

**長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意**

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してから滞在許可証を取得することを予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

**パスポートダウンロード申請書のご案内**

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

**海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ**

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

**大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00，Eメール：

[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

## 文化行事・大使館関連行事

**〔開催中〕花鳥画展【9月21日(水)～12月31日(土)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、花鳥画展が開催中です。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://www.manggha.pl/exhibition/81>

**〔開催中〕展覧会「日本を体験」【11月18日(金)～1月21日(土)】**

ルブリン市 Spotkania Kultur センターにて、日本文化・歴史を紹介する日本美術技術博物館 Manggha 所蔵品の展覧会が開催中です。

開催場所：ルブリン県、ルブリン市、Centrum Spotkania Kultur, Plac Teatralny 1

詳細:<http://www.spotkaniakultur.com/pl/manggha>

**【開催中】ヨーロッパ短編映画祭「ユーロショートス」【11月28日(月)～12月11日(日)】**

グダンスク、ワルシャワ、カトヴィツェ、ジェロナ・グラ市にて、ヤングシネマ基金主催によるイベント『ヨーロッパ短編映画祭「ユーロショートス」』が開催中です。日本から宮嶋龍太郎監督及びAnshul Chauhan 監督による短編映画が上映される予定です。

上映スケジュール(グダンスク):

12月1日(木) 17時30分「石鱈」 Anshul Chauhan 監督作品, 場所: Nadbałtyckie Centrum Kultury ul. Korzenna 33/35

12月2日(金) 17時30分「Radio Wave」 宮嶋龍太郎監督作品, 場所: Narodowe Muzeum Morskie, ul. Ołowianka 9-13

開催場所: グダンスク、ワルシャワ、カトヴィツェ、ジェロナ・グラ

詳細:<http://www.euroshorts.pl/>

**【予定】嵐絞り染めに関する展示及び講演会【12月5日(月)～1月20日(金)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、嵐絞り染めに関する展示が開催されます。また、12月5日(月)17:30より、ウヅ美術大学衣装学部織物染科のルドヴィカ・ジトキエヴィチ=オストロフスカ博士による講演「消えゆく伝統～嵐絞り染めの現代解釈」が予定されています。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください(ポーランド語による講演)。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話:22 -584 -73 00, E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**【予定】ポーランドにおける合気道40周年記念事業:植芝充央道場長による合気道セミナー【12月10日(土)～11日(日)】**

ワルシャワ市にて、ポーランドにおける合気道40周年記念実行委員会主催による『ポーランドにおける合気道40周年記念事業:植芝充央道場長による合気道セミナー』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県、ワルシャワ市, Arena Ursynow スポーツセンター, ul. Pileckiego 122

詳細:<http://40lataikido.pl/en/>

**【予定】水曜映画上映会「阿修羅のごとく」【12月14日(水)17:30～】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「阿修羅のごとく」が開催されます(日本語音声, 英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話:22 -584 -73 00, E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**【予定】第10回柔道選手権大会「若者の才能養成所」【12月17日(土)】**

ユゼフフ市にて、学生柔道クラブ「ユコ ユゼフフ」主催による『第10回柔道選手権大会「若者の才能養成所」』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県、ユゼフフ市, ul. Długa 44

詳細:<https://www.facebook.com/events/255971241221761/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)